

# 筑心

chikushin

筑心会

vol.17

2007 JULY

平成19年7月1日発行



発行 福岡県立筑紫高等学校  
同窓会 筑心会

## 第32回筑心会 懇親会

2007年8月5日(日) 15:00~  
西鉄グランドホテル

在校生のために  
私たちが出来ること。

www.chikushin.net

# ご挨拶



「揺るぎなき 筑紫魂」  
名誉会長(学校長)  
石橋 國重

筑紫は国のまほろば 遠の朝廷の雅を今に  
美しき山川かぐわしき文化  
青春の英気燃したる 筑心は吾が魂の古里  
忘れじな針摺の四季  
梅の香りと宝満嵐 ぬくもりとその厳しさを  
懐かしき友垣 筑紫ぞ恋しき

初代重松直校長が、平成七年の同窓会誌に掲載され、筑心会の皆様へ贈られた、筑心讃歌であります。

同窓の皆さんが、豊かな自然と薫り高き文化が漂う針摺の地において、若き日の情熱を燃やして送られた日々思い出が、切々と詠われ、しみじみとした中にも、誇り高き筑紫魂を感じさせる感動的な讃歌であると思います。

あくなき情熱を傾けられた重松校長とともに生まれ、ひたむきに学校造りに奔走された当時の生徒たちの姿は気高く、深い畏敬の念を感じています。

何もない不自由な中から校是の「師弟同行」が生まれ、教師と生徒が共に協力し助け合つて、学校造りに励み、筑紫高校の揺るぎない礎が築かれ、歴史は刻まれてきました。

重松校長から数えて十五代。今までの校長の方々の輝かしい業績に恥じることのない学校造りをしなければというプレッシャーを感じながら、身の引き締まる思いで人づくりに努めています。

ところで、我が国の教育界は激動の時期を迎えています。子供たちの状況は、いじめ問題を始めとして、異常な事件も少なくありません。また

目を背けたくくなるような若者の道徳意識の低下、国際的に見た子供たちの学力の低下も我が国の課題としてあげられています。さらには、未履修を始めた学校、規範意識の低下や、教師の使命感、資質の低下等、学校の課題が浮き彫りになり、教育界は厳しい立場に置かれています。

平成十八年十二月には教育基本法が改定され、続いて平成十九年二月、首相の諮問機関である教育再生会議が「社会総がかりで教育再生を」をテーマに、第一次報告がなされ、さらに六月、德育教科の設置や、授業時間数10%増などが盛り込まれた第二次報告と、国レベルで教育に対する取り組みが始まっています。

このように、教育改革のうねりの中で、筑紫高校も、この荒波を受けてはありますが、歴史と伝統という部材をもちいて造られた「筑紫丸」の揺れは少なく、「文武両道」を帆柱に立て、「文の鍛錬は授業から」「武の鍛錬は身だしなみから」をスローガンとして、教師と生徒が力を合わせ、船首を地球の未来へ向けて悠然と進んでいます。

道を休めよ他郷苦辛多しと  
同胞友有り 自ら相親しむ  
柴扉曉に出ずれば霜雪のごとし  
君は川流を汲め我は薪を拾わん

江戸時代の後期に、大分県日田市に全国有数の私塾として有名な咸宜園を開いた広瀬淡窓が、生徒たちを励ますために作った漢詩「休道の詩」であります。

最後の一行は「さあ、朝食の支度だ。君は前の川で水を汲みなさい。私は裏山で薪を拾ってこよう。共に力を合わせて勉強に励みましょう。」と、このことを意味しており、「生徒と寝食を共にする全人格的ふれあい教育」という淡窓の教えの端が表れています。

筑紫高校が掲げる「師弟同行」は、淡窓の教えと相通するものがあり、この「全人格的ふれあい教育」を理想として学校造りに励みたいと考え

ています。

筑心会の皆様には、長きにわたり、本校の良き理解者として多大な御援助を頂いていることに、対し深く感謝申し上げますとともに、今後とも、変わらぬ御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶といたします。

# ご挨拶



「新たな出会いと交流」  
同窓会会長  
今村 巧児

筑心会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃から同窓会活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

恒例の総会懇親会の運営を行っていた、当番幹事制は20歳、30歳、40歳の3期で構成してまいりましたが、制度導入以来、早くも10年を経過いたしました。このため、今年度から50歳の会員も加わり、40歳を幹事長期として、4世代で担っていた、こととなりました。

これからも、この当番幹事制が同窓生相互の新たな出会いや世代間の交流を生み、また、母校筑紫高校への思いを深め、そして広げていくことにもつながるものと考えております。

母校、そして在校生後輩諸君に対する支援につきましても、OB講演会をはじめとして、様々な取り組みを行い、同窓会活動を更に充実してまいります。

今後、学校、父母教師会、教育振興会の皆様と一体となり母校発展に携わってまいりたいと存じますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

# 恩師往来

○退職	・初井 一男(校長)	・中村 邦夫(教頭)
・上津原 功二(主任技師)	・山崎 尚美(国語)	↑ありあけ新世高校
・鈴木 清香(企画主査)	・白石 健(数学)	↑嘉穂高校
○転出	・小石澤 和洋(教頭)	↑久留米高校
↓香椎高校	・樋口 隆基(理科【物】)	↑新宮高校
・安部 精(国語)	・吉田 英子(理科【化】)	↑香住丘高校
↓筑紫中央高校	・清田 正和(理科【化】)	↑須恵高校
・堤 雅彦(地歴【日】)	・脇山 弘二(保健体育)	↑福岡中央高校
↓筑後養護学校	・吉村 成登(理科【物】)	↑須恵高校
・松尾 緑(数学)	↓明善高校	・田中 一嘉(英語)
↓明善高校	・内田 敏章(理科【化】)	↑藤 理穂子(英語)
・吉村 成登(理科【物】)	↓柏陵高校	・藤 理穂子(英語)
↓明善高校	・久間 克己(理科【化】)	↑玄界高校
・内田 敏章(理科【化】)	↓福岡中央高校	・桐明 久美子(家庭)
↓明善高校	・江口 邦子(英語)	↑福岡農業高校
・久間 克己(理科【化】)	↓小郡養護学校	・富田 清子(養護教諭)
↓福岡中央高校	・櫻木 顕也(英語)	↑城南高校
・江口 邦子(英語)	↓博多青松高校通信	○復職
↓小郡養護学校	・河原 美英子(家庭)	・樋口 千鶴(保健体育)
・櫻木 顕也(英語)	↓明善高校	↑団体役員
↓博多青松高校通信	・中田 雅子(養護教諭)	○講師
・河原 美英子(家庭)	↓筑紫丘高校	・安井 好則(地歴)
↓明善高校	↓忍(保健体育)	・野島 明日香(国語)
・中田 雅子(養護教諭)	↓福岡市	・佐野 匡志(保健体育)
↓筑紫丘高校	○転入	・鈴木 直之(芸・美術)
↓忍(保健体育)	・石橋 國重(校長)	↑いずみ(芸・音楽)
↓福岡市	↑県教育センター	山下 (敬称略)
○転入	↑情報教育部長	

## 第31回筑心会懇親会報告

同窓会員の皆様、昨年は第31回筑心会へ多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、盛況のうちに筑心会を終えることができました。

継続：これが我々10・20・30期当番幹事の課題でした。前年9・19・29期によりリニューアルされた同窓会を、さらにグレードアップさせるべく継続する：かなり重い課題と感じました。その上、前当番幹事との引継ぎを遅らせてしまい、活動開始が遅れ：正直申しますと、かなり焦っております。

しかし、40歳になった我が同期生の優れた技術力と、それを強力に支えてくれた頼もしい



20・30期生幹事たちが私の焦りと不安を吹き飛ばし、彼らのおかげで無事盛大な筑心会を実施することができました。改めて当番幹事のみなさん、ありがとうございました。

さて、今年も8月5日の筑心会実施のために、11・21・31期の当番幹事達が準備を進めております。さらに1期生の先輩方も加わり4世代幹事となつて、より充実した筑心会を期待できるのではないのでしょうか。

これで我々の当番幹事の仕事は終わりましたが、今後も筑心会発展のため、そして、同窓会員皆様をもっと気軽に楽しく参加・協力できる筑心会になるよう尽力して参ります。

《One for all, all for one》  
またこの夏、筑心会で会いましょう。  
平成18年度当番幹事長 10期生 井上 光司



## 筑心会 関東支部 第7回総会案内

筑心会副会長 関東支部長 1期生 園田 茂雄

今年には関東支部12周年であると同時に、1期生が50歳を向かえる正に節目の年。そして今年には隔年開催の関東支部総会の開催の年。先頭を走る1期生をはじめとして、幹事一同、想いも新たに第7回関東支部総会準備に取り組んでいます。

首都圏、関東地区にお住まいの会員の皆さん、2年間でたった1日、関東支部総会で、私達の母校で学んだあの日のあの出来事に思いを馳せながら、それぞれの近況などを笑顔で

語り合うそんな楽しい日を共に過ごしてみませんか。きつとまた、新たなエネルギーが満ち溢れ、更に生き活きとした毎日になるのではないのでしょうか。

あなたから声をかけ、大切な同級生、クラブの先輩、後輩と共にお越し下さい。あなたと逢える事を心待ちにしている人がたくさんいらっしゃる事でしょう。是非、奮ってご参加下さい。

来る10月、関東支部総会で皆様にお逢い出来ませう事、心から楽しみにしています。

### 第7回 関東支部総会 開催内容

**日時** 2007年10月7日(日)  
13時30分受付開始 14時開宴 16時閉宴  
**会場** アルカディア市ヶ谷 東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL03-3261-9921  
地下鉄有楽町線・南北線、地下鉄新宿線市ヶ谷駅 A1-1出口  
JR中央線市ヶ谷駅、各出口から徒歩2分

**会費** 1期～28期 6,000円 29期～ 4,000円  
(中学生以上の同伴者 4,000円、小学生以下無料)  
会場には小さなお子様の為のキッズルームをご用意し、保育士さんを配置いたします。安心してお子様連れでお越し下さい。

- 二次会も開催いたします。  
会場は、市ヶ谷近隣の会場にて開催いたします。  
当日、総会会場にてご案内いたしますので、こちらも奮ってご参加下さい。
- 尚、出欠のご連絡は、同封の返信用はがきもしくは、ウェブからお願いいたします。  
また、住所変更等も、同様にお知らせいただくと幸いです。



# 第32回筑心会案内

今年も暑い夏がやってきました！そう、年に二回の懇親会です。普段はなかなか会えない恩師の先生方や級友とホットな時間を過ごしませんか？「みんなで楽しむ筑心会懇親会」をテーマに二人でも多くの方が参加し、楽しんでいただけるように現在進行形で懇親会プロジェクトが進行しています。

『あなたは、どこまで覚えている？』

―筑紫高校今昔物語―

体育の時間には必須だった「筑紫体操」、今のあなたはどこまで体操できますか？

今年の懇親会では、参加者とともに「筑紫体操」を行う予定です。頭では覚えていても、身体が忘れていませんか？温故筑心を身体でも実践しましょう。心身共の『リフレッシュ』や旧友との「きずな」が深まることうけあいです。さあ、「一緒に!!」

また、筑紫高校が設立されて30年が経過し、「筑紫バグ」を始めとして時代の流れとともに様々な変化が起きています。懇親会では、改めて筑紫の「今と昔」にスポットをあてて皆様にご紹介したいと思います。

『何が変わったのか』は、懇親会を楽しみにしてください。皆様、お誘い合わせの上、是非是非ご参加ください。

## 第32回筑心会

【日 時】	8月5日(日)
【受 付】	15時～
【懇 親 会】	15時30分～
【場 所】	西鉄グランドホテル
【会 費】	(当日価格)
	1～11期 6,000円
	12～21期 5,000円
	22～28期 4,000円
	29～31期 2,500円
	32期 1,500円



### ◎ 出席の先生方 ◎

- |       |       |
|-------|-------|
| 安達昌代  | 中村邦夫  |
| 伊藤整一  | 鍋島信江  |
| 今村勝人  | 西尾孝裕  |
| 岩村治郎  | 西田文男  |
| 大部俊美  | 西村寛久  |
| 大山一郎  | 仁田原秀明 |
| 小川文一郎 | 野島明日香 |
| 北島龍雄  | 林清昭   |
| 城戸英敏  | 福田修   |
| 君塚陽子  | 前田眞介  |
| 木村賢治  | 松尾キヨミ |
| 桐明久美子 | 三苫大輔  |
| 日下部成邦 | 三好洋一郎 |
| 佐野匡志  | 羽井一男  |
| 四村聡子  | 安井好則  |
| 白垣政康  | 吉田和裕  |
| 新野祥二  | 脇山弘二  |
| 鈴木貴子  | 渡邊啓明  |
| 高橋都   | 渡部一雄  |
| 田嶋能子  | (順不同) |
| 田代りえ子 |       |

前売り  
価格が  
お得!

## 懇親会チケットを「チケットぴあ」にて発売中! ホークス戦やフードスーパーボックスが当たる!

今年の筑心会懇親会入場チケットもチケットぴあにて前売り販売いたします。

販売期間

平成19年7月5日～8月4日

販売場所

- 全国チケットぴあ取り扱いカウンター、ファミリーマート、サークルK、サンクス
- Webサイト「電子チケットぴあ」  
(インターネット経由でのご購入の場合、別途手数料¥310が発生します)
- Pコード:P609-972  
(購入の際にPコードを販売窓口で申し出ていただくか、チケット発券機へ入力してください)

懇親会当日「チケットぴあ」様の協賛で、「ホークス戦やフードスーパーボックスが当たる!」の抽選会(2試合分)がございます。

	前売り	当日
1～11期	¥5,700	¥6,000
12～21期	¥4,600	¥5,000
22～28期	¥3,600	¥4,000
29～31期	¥2,000	¥2,500
32期	¥1,000	¥1,500

### お問い合わせは筑心会へ

- 電話:092-924-1511
- E-Mail:info@chikushin.net
- URL:http://www.chikushin.net

## 当番幹事紹介

今年の当番幹事は、1期、11期、21期、31期です。元サッカー部の浦田幹事長が率いる11期(イレブン)を中心に8月5日の西鉄グランドホテルでの筑心会に向け、「筑紫今昔物語」をテーマに幹事同ががんばっている日々です。

以下、幹事からのメッセージです。  
「とにかく、みんな、やろうぜー!!」 BY 幹事長

「我が子が筑紫生現役の年に当番幹事ができて、ラッキーです! BY 1期幹事」  
「とにかく、みんな来て!一緒に楽しくがんばらんといかんよ。筑紫体操もがんばって踊るわ! BY 11期」

「私たちも三十路!この節目となる今年、懐かしい仲間や先生方に会って、忘れかけている何かを皆さんと再確認したいと思っています。昔話、近況報告、そしてこれからの交友のために、21期生の皆さん、先輩、後輩に会えるのを楽しみにしています。BY 21期幹事」

「31期が出席者最多になるよう是非ご出席お願いします!若い力で懇親会をいいものにしたいです。多くの先生、先輩、後輩、級友と触れ合える絶好の機会!!みんなが「懇親会に来てよかった!!」って思えるものにしたいです!! BY 31期幹事」

幹事長	浦田 高章(11期)
幹 事	内山 智恵(11期)
	高月 令子(11期)
	河村 建(11期)
	荒瀬 嘉穂里(1期)
	梅田 裕二(1期)
	蓮尾 紀博(1期)
	松永 比呂志(1期)
	大脇 健志(21期)
	篠原 裕美(21期)
	竹内 亮輔(31期)
	中村 文香(31期)
	矢羽田 聡彦(31期)

# 第2回OB講演会実施報告と感想

If & Reality

開催日 2006年7月15日(土) 快晴☀️  
 詳細日程  
 AM 9:10~ 開会式  
 (体育館にて講師の紹介)  
 AM 9:50~10:40 1回目講演  
 AM10:50~11:40 2回目講演  
 AM11:50~13:00 控室にて昼食をとりながら  
 意見交換会及び反省会



★OB講演会「IF & REALITY」は2005年度に9期生の呼びかけが始まった同窓会行事です。卒業生が在校生(2年生)に対してその専門分野や得意分野の話を50分間行うもので、形式は講義、ワークショップ、座談会など各講師の裁量に任されています。本年度は9月15日(土)に開催されます★

■私は第一回「IF & REALITY」に不参加でしたので、どのような主旨・内容・役割なのか?深く理解しないまま当番幹事代表として実施委員会に加わりました。諸先輩にリードいただきながら実施計画、調整など順調に準備は進みました。また当日は講師まで担当させて頂きました。少々張り切り過ぎた感もありましたが、OBとして母校の後輩達のために少しでも役に立ちたい!後輩達に伝えたいことがある!という想いで取り組みました。

■昨年の「IF & REALITY」は第1期生から第20期生までの卒業生18人が講師役を引き受けてくださいました。教育・心理・スポーツ指導・建築・パイロット・消防・編集・芸能・経営者な

どの様々な専門分野の卒業生たちが集まってくださり、その話に在校生達は興味を持って聴き入っていました。またその際には多くの疑問に関して質問も出ていました。その時には発言しきれなかった在校生から数日後に感想や質問のメールや手紙を受け取った講師もいました。

■在校生たちが、この「IF & REALITY」で何かひとつでも将来の役に立つような経験ができたならば講師として嬉しい限りです。また、講師たちにとっても現役の高校生と過ごした時間はとても貴重な経験となったことと感じています。

■昨年の「IF & REALITY」からあつという間に二年が経つてしまいました。「IF & REALITY」は年を経るごとに進化し、今よりももっと在校生の力になれるような企画に育てるべく実施委員会も尚一層の努力を続けておりますので、お手伝いできる方は筑心会までご連絡ください。今後とも卒業生みなさんの力で筑紫高校生をサポートしていきましょう!  
 (OB講演会実施委員会 10期門田良明)

## 「OB講演会」感想文

対象学年は現3年生(33期生)、いずれも一部抜粋

今日のOB講演会では、出版社とソフトウェア開発の方に話を伺いました。

印象に残ったのは、どちらの先生も、「自分の考えをしっかりと持つ」ことが大切だとおっしゃったことです。全く異なった二種類の仕事なのに、大切だとすることが同じだと言うのが、とても面白く思えました。

出版社の仕事には、理系や文系はあまり関係ないということも驚きました。自分の中では、理系に向いている仕事、文系に向いている仕事があり、出版は文系の仕事だと思っていたからです。確かに語学や専門的な知識はあるのですが、それも仕事をするうちに身につくそうです。

今回の講演会で、自分の進路がどんな仕事に向くのかではなく、自分がどんな仕事をした方がいいのか大切だとわかりました。将来、後悔をしないでいいように、自分について、よく考え見つけ直したいと思います。

2年3組 竹本幸広

体育館で講師の方の紹介があったとき、どの方も輝いて見えました。筑紫高校でずっと充実した素晴らしい時間を過ごされたのだらうと思います。私は毎日、なんとなく登校して、授業が早く終わらないかと考えたりと中身がつまつておらず、もったいない時間になっているなと思いました。私はまず、気持ちからメリハリをつけないといけないなと思いました。

キャリアカウンセラーの方の話を聞きました。現在までに4つの仕事をされています。多くの仕事を経験してきたからこそ分かることがあるとおっしゃっていました。私は、なるほどなあと思いました。

長所とは人と比較するものではなく、自分の中で自分の得意なことである、そう言われました。私は自分の長所を尋ねられても答えられないと思います。私はまず、自分の長所を知り、そして、その長所を生かされるような仕事に就きたいと思いました。

2年2組 植木慧

まず初めに日本語教師である先生の話を書きました。アメリカと日本の学校の違い、日本語教師になるまでの過程やその他の様々な経験などの話を聞くことができました。旅行でもなんでも、外国へ行って現地の人と英語で会話してみたいです。少しでもチャンスがあれば、それを逃すことのないように頑張ろうと思いました。

次は、出版社に勤める先生でした。仕事は忙しいけれどその分やりがいがある、と言われたのが一番印象的でした。自分がすごくすごく好きな事をやると良い、とアドバイスをくれました。今の私は、その「すごくすごく好きなこと」がよく見つけられないけれど、焦らずにいこう。私も、自分でやりがいがあると思える仕事に就きたいです。

講演は2つしか聞けなかったけど、全部聞きたかったです。どうもありがとうございました。

2年8組 植木ありさ

## 「化学部」 文部科学大臣賞受賞！

「化学部」が、一昨年に続き快挙！

化学部の自由課題研究論文が、第50回日本学生科学賞全国審査最終選考会において、第48回大会に続き2度目の文部科学大臣賞に輝いた。研究テーマは、「塩基性下におけるアントシアニンの色調安定化に関する研究」である。

本大会は、全日本科学教育振興委員会および読売新聞社、独立行政法人科学技術振興機構が主催する日本で最も伝統のある中学生と高校生のための科学自由研究コンテストで、未来の優秀な科学者を生み出すため「国際地球観測年」の1957年に創設された。

地方審査（県審査）で最優秀賞を受賞した作品が中央審査（全国大会）に進出できるが、中央審査は2段階選抜から成り、論文審査のみの一次審査を通過したものが二次審査（最終選考会・東京）へ駒を進め、プ



国内大会賞状記念写真



国内大会中央審査発表ブース前にて



国内大会中央最終審査の一場面

レゼンテーションや大学教授等による口頭試問を受けることとなる。

第50回大会の中央審査進出の研究作品数は高校の部のみで115であった。

地方審査からの参加総数6443作品（中高合計）の研究から勝ち取った受賞であった。

中：高の各都府で内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞等の各大臣賞が表彰を受けることとなるが、文部科学大臣賞は上位から2番目の賞といえるだろう。県審査の出場校は、例年修猷館、福岡高校等の進学校が中心であり、本校の健闘は、賞賛に値するものと考えられる。

2日間にわたる中央審査最終審査会は、各校の展示ブースを不定期に訪れる各審査員からの厳しい質問等に対し、緊張しながらも必死で回答する生徒たちの熱気で溢れていた。

「顧問教諭のサポートは、一切許可されない為、見守るしかない中、本校の生徒たちは、研究成果について、よく自分の考えを主張できたと考えている。」

（顧問 中島教諭談）

## 「化学部」ISEF （国際学生科学技術博覧会） に参加！

本年、「化学部」が開校以来初の国際大会へ出場を果たす！

今回、「化学部」が出場した大会は、毎年アメリカで開催される大会で、世界中から1500人以上の高校生が集まって開かれる科学研究コンテストで、高校生の為の科学オリンピックとも言える国際大会である。非営利団体のサイエンスサービスが運営を担当している。

第58回となる本年の大会は、ニューメキシコ州アルバカーキで5月13日から1週間の日程で開催された。

世界50か国及び米国45州で承認された科学コンテストにおいて優秀な成績を残した代表研究約1200本が一堂に会し、国内大会（日本学生科学賞）の最終選考と同様に展示ブースでの審査が実施された。

その数と規模は、世界見本市さながらであり、その熱気たるや、国内大会の最終選考とは比較にならないほどであった。



国際大会開会式の一場面



国際大会発表ブースの前で



国際大会夕食会にて（他国の出場者）

生徒達には、英語によるプレゼンテーションと質疑に対する応答が要求され、大変苦労したようであるが、持ち前の明るさと熱意で乗り切ることができた。

残念なことに、受賞は逃したが、大変いい経験を積むことができた生徒たちは感想を述べている。

大会では、諸外国の同年代の生徒との交流チャンスも生まれ、来年度に向けて再チャレンジに燃えているとのことである。

また、本大会中の必須要件である「英語力」に対して、英語習得の必要性を肌身で実感したようで、英語への学習意欲も高まっているようである。

出場生徒は、全て2年生（清田智美さん、伊藤有紀さん、石川愛さん）である為、今後の期待が膨らむばかりである。

「今回の派遣に際しては、筑心会の多くの方々からご支援を頂き、深く感謝致しております。」

今後は、今回の経験を、本校の生徒の活動に還元していきたいと考えています。」

（顧問 中島教諭談）

### 第3回OB講演会 開催のお知らせ

『IF & REALITY 2007』9月15日(土)

「もしも、高校生の時：だったら、今頃は…」  
「あの高校時代があるから、今の自分がある」という、卒業生からのメッセージを、母校で後輩に伝える機会、『IF & REALITY 2007』が、今年度も9月15日(土)午前中に開催されます。

今年で3年目を迎えるこの催しは、文理選択は終えたものの、生き方や働くということに對しまだ漠然としたイメージしか湧いてこない高校2年生を対象に、同窓会がOBを講師として派遣する、進路学習の一環です。

講師には、OBの中から様々な方面で活躍の方々に協力をいただいています。高校卒業後☆☆年、○○歳になった今だからこそ伝えられる思いを、「社会人となった今、人生の先輩として、17歳の若者に語っていただきます。」

筑紫つ子たちの元気な笑顔と挨拶が待っていますよ。今後も、この母校支援事業にご協力いただけるOBの方を募集して参ります。お問い合わせは、筑心会ホームページへアクセスして下さい。多くの方のご支援をお待ちしております。



### 富士登山・鎌倉・ 東京研修旅行報告

平成18年度から「スキー教室」と「富士登山・鎌倉・東京研修旅行」のいずれかを選ぶ選択希望制による修学旅行が始まりました。これは、①生徒の個性や能力に応じた選択。②大自然とふれあう異文化体験を通して、生徒が大きな感動を味わうとともに感性を高める。③本校の教育目標の二つ「NO.1を目指す」に基づき導入されたものです。

記念すべき第二回目となった昨年度は、7月31日～8月3日(泊4日)の日程で、山頂アタックコース34名、ハイキングコース186名、合計220名の33期生が参加して実施しました。山頂アタックコースは五合目から最高峰「剣が峰」をめざしました。ハイキングコースは五合目から、巨六合目まで登り、御来光を見た後、再び五合目を經由して富士山麓の広大な大自然の中を走る旧登山道を、高山植物や富士山の歴史など登山ガイドの説明を聞きながら二合目(約10km)まで6時間かけて降りました。すなわち33期生全員が力を合わせて登下



剣が峰山頂



ハイキング5合目(御中道)



富士山御来光へ

山することで「富士山を制覇する」し、「日本二を体感しよう」と試みました。アタック隊は富士吉田ルートを使用。はじめは、春の花や高山植物とりわけハクサン石楠花が美しく咲き誇る緩やかな登りでしたが、六合目の樹林帯をすぎると砂礫の急な坂道へと変わり、溶岩流の岩場は滑りやすくなかなか進めません。更に7合目をすぎると空気が薄くなり、息苦しく、軽い頭痛、吐き気など高山病が追い打ちをかけます。そんな中、生徒たちは互いを励まし合いながらひたすら山小屋をめざしました。眼下に広がる雲海や夕焼け(刻々と変化する色)、初めて見る景色や体験に、あらためて富士山の壮大さを実感しました。八合目の宿泊所「元祖室」に着いたのは日ともつぷりと暮れた午後7時30分でした。翌朝2時、ふたたび山頂をめざしました。翌朝2時、ふたたび山頂をめざしました。ガスが出て心配しましたが幸いにも雲の切れ間から御来光を拝むことが出来ました。色々な困難を乗り越え、33期生全員で掴んだ「日本二」。今回の研修旅行をとおして生徒たちは、自分の限界を決めず限界にチャレンジすることの大切さや友情のすばらしさを再認識するとともに大きく成長できたと思います。

### ソフトテニス部 OB会開催のお知らせ

OB戦(日時)平成19年8月18日(土)9時開始  
会場)筑紫高校男子テニスコート  
懇親会)OB戦終了後18時頃開始予定  
詳細は筑心会ホームページでお知らせします。

筑紫高校ソフトテニス部OB会はOB相互の親睦と現役後輩の発展や支援のため、発足されました。今年で発足3年目となり、昨年8月に行いました第2回に引き続き、今年もOB会を開催します。今回はOB戦のみではなく、前回行えなかった懇親会も開催します。皆さんが集まりやすく満足できるものになるよう頑張りますので、OB戦、懇親会のどちらからだけでもかまいません。懐かしのお仲間をお誘いの上、気軽に参加していただければうれしく思います！

OB会に参加できない方も寄付口座は継続して開設しておりますので、OB・OGの皆さん、現役後輩への応援ヨロシクお願いします。これまでいただいた寄付で現役後輩達にテニスボールを寄贈しました。今後も筑心会ホームページで報告いたします。

### 郵便振替口座

- 〈口座番号〉01700-8-132807  
(加入者名)筑紫高校ソフトテニス部OB会  
1. 寄付金は1口1,000円からOKです。  
2. 郵便振替用紙通信欄に卒業期を書いてください。  
3. 振込み期限はありません。



## 後輩達の今！

## VOLLEYBALL

魅せた筑紫魂！



筑紫高校男子バレー部22名は、新チームが結成して初めて行われた公式試合の新人戦で、みごと県大会出場を決めた。又、5月5日に行われたインターハイ予選でも県大会出場を決めたが、ドラマがあった。

ここ数年、県大会常連となった筑紫高校男子バレー部は学年が上がり新一年生も加わって、4月に行われる九州予選大会でも県大会出場を期待されていた。ここで勝てば県大会。しかし結果は武蔵台に2-1で惜敗。そこでの悔しさをバネに自分たちで練習を工夫し限られた時間の中で努力を積み重ねてきた。

今年のチームは高さがないぶんレシーブ力で勝負！それも守りのレシーブではなく、『攻めのレシーブに徹して勝機を掴む』を胸にレシーブ中心の厳しい練習を繰り返してきた。その結果、インターハイ予選では一



回戦、二回戦、三回戦と順当にストリート勝ちで四回戦へと駒を進めた。ここで勝てば、県大会出場！しかも相手は、九州大会予選で県大会出場を阻んだ武蔵台高校、絶対に勝つという思いで始まった。第1セット、余裕勝ちとはいかなかったものの、粘りのバレーで勝利。続いて第2セット、このセットを取れば県大会だ。しかし、惜しくも2点差で敗れ、迎えた第3セット、ここで勝った方が県大会に駒を進めることができる。大きな分かれ道だ。緊張の中、試合開始のホイッスルがなり、1点取ったら1点取られ、1点取られたらまた1点取り返す、白熱の戦いが続いた。しかし、試合終盤20点台にのつたとき筑紫魂が爆発し、流れが筑紫に来て勝利を掴み県大会出場を決めた。これからも先輩たちが築いてきた伝統をしっかりと受け継いでいって更なる躍進をして欲しい。

## HANDBALL

ガンバレ！新生ハンドボール同好会！！



一昨年7月に筑紫高校創立32年目で、ハンドボール同好会が産声をあげた。

専門の久保野先生の声かけにより、3年生7名、2年生5名、マネージャー2名での船出となった。殆どが初心者で、練習場所の確保もままならず、ようやく取れた体育館での練習も会員数が少ないので十分なチーム練習もできない等の苦勞もあつたようだ。

しかし、そういうことにも挫けず、会のモットーである「努力あるのみ！！」のもと、チーム一丸となり12月に行われる新人戦に向け必死のトレーニングを積んでいった。そして同好会の初陣である新人戦を迎え、一回戦武蔵台高校相手に僅差ではあるが15対14で初陣を飾ることができた。2回戦は祐誠高校



(元久留米工業大学附属高校)に16対38で敗れはしたが、初めての大会、初めての試合で勝ち、ベスト16になり県大会に駒を進める快挙を遂げた。

先日、早いもので創会から一年足らずで高校総体、三年生にとつては引退試合を迎えた。残り4分で18対22の劣勢を一点差まで追い上げ、残り5秒でペナルティースローのチャンスが訪れたが、僅かに外し惜敗したものの悔いはない。こういう経験の積み重ねが伝統を作っていくのではないか。この試合が筑紫高校ハンドボール同好会の歴史の一步になると信じて疑わない。

そして、今年の春、一年生10名とマネージャー2名を迎え、更に活気付いた。これからの益々の活躍を期待したい。